

東京2020大会を契機とした働き方改革と 円滑な大会運営に向けた取組

平成31年2月1日
東京都

スムーズBizについて

新しいワークスタイルや企業活動の東京モデルを「スムーズBiz」とし、その定着を図るため、これまで進めてきた東京2020大会の交通混雑緩和に資する交通需要マネジメント（TDM）とテレワークや時差Bizなどの取組を一体的に推進していきます

スムーズBiz

～新しいワークスタイルや企業活動の東京モデル～

テレワーク

ICTを活用した、
場所や時間にとらわれない
柔軟な働き方のこと

快適な通勤環境や企業の生産性の
向上を図り、全ての人々が生き生
きと働き、活躍できる社会を実現

東京2020大会を契機として…

東京のレガシーに！

時差Biz

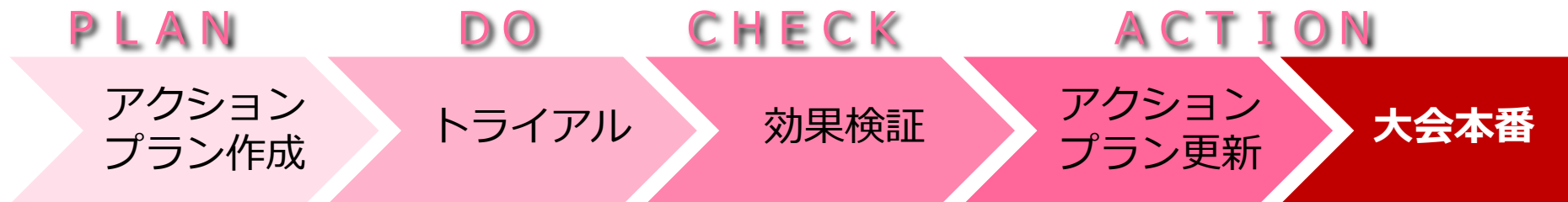
通勤ラッシュ回避のために
通勤時間をずらす
働き方改革のひとつ

東京2020 大会
開催期間中における
交通混雑緩和に向けた
交通需要マネジメント

2020TDM
推進プロジェクト

2020大会に向けた混雑緩和の取組について

大会本番に向け、混雑回避行動のPDCAサイクルを構築し確実に実施



● アクションプランについて

企業が業種や業務の内容に応じて、交通混雑緩和に取り組む内容を作成

Step1

取組の項目

- ・ 休暇の計画取得
- ・ テレワーク、時差出勤
- ・ 配送の工夫 など

Step2

取組の内容 (いつ、どのくらい)

- 【例：時差出勤】
- ・ いつ：オリンピック大会期間中
 - ・ どのくらい：社員の3割が
オフピーク時間帯に出勤 など

Step3

取組推進の責任者、 実施の確認方法

- ・ どこが責任を持つか
- ・ 推進方法 など
(今後、各企業と調整・検討)

- スポンサー企業などへ先行的に作成を依頼
- 作成・取組の支援として
 - ・ 手引き（ハンドブック）を公表（4月頃）
 - ・ 企業向けセミナー・コンサルティング、補助事業・融資等を実施
- 都庁版アクションプラン（取組の項目）を公表（平成31年1月25日）

2020大会に向けた混雑緩和の取組について

特に取組をお願いしていく項目（例）

全ての企業に共通する事項 （約66.2万事業所） <ul style="list-style-type: none">■ テレワーク（※）■ 時差出勤（※）■ 夏季休暇期間の時期変更（分散取得）	など
運輸業に関連する事項 （約1.6万事業所） <ul style="list-style-type: none">■ 大会時の混雑箇所等の迂回/時間変更■ 臨海部における渋滞緩和に向けた取組への参加	など
荷主となる企業に関連する事項 （約64.6万事業所） <ul style="list-style-type: none">■ 商習慣の見直し■ 納品・発注時期の前/後倒し■ 異種品目の混載促進■ 共同配送（館内物流）の促進	など
販売業に関連する事項 （約15.8万事業所） <ul style="list-style-type: none">■ サマーセール/お中元の早期開始	など

※都の主な支援

○テレワーク

- ・業界団体向け：2020TDM推進プロジェクトに参加する業界団体と連携し、会員企業に対するテレワーク導入コンサルティング等を支援
- ・企業向け：都や業界団体が実施するコンサルティングを受けた企業に対し、テレワークの導入に必要な機器経費や制度整備等に対する費用を助成

○時差出勤

- ・企業、通勤者向け：鉄道事業者へ混雑の見える化、臨時列車の増発などを働きかけ

○共通

- ・企業向け：テレワークや時差Bizなど働き方改革に取り組む企業に対し、中小企業制度融資による資金調達を支援